

手押し台車取扱説明書

使用時の注意事項

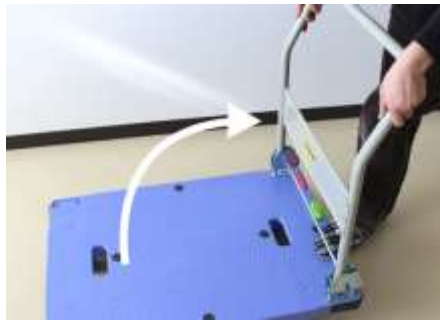
- 荷物を積み上げた時視線が遮られないよう注意してください。
- 片寄った積載（偏荷重）をしないでください。
- 台車を移動させる時に、絶対にハンドルから手を離さないでください。
- 著しい凹凸での使用または鋭利な突起のある床面での乗り越しは、避けて下さい。
- 台車を移動させない時に、必ずブレーキを確実にかけてください。
- ブレーキをかけたまま、無理に動かさないでください。
- 走行中にブレーキを操作しないでください。
- 傾斜面でブレーキをかけたまま放置するようなことは、避けてください。必要な場合には、• 台車の上に乗ったり、押して遊んだりしないでください。
- 耐荷重以上の荷物に使用しないでください。（破損の恐れがあります。）
- 移動時電気コードを踏まないようにして下さい。コードが断線・発火する恐れがあります。

組み立て方

	<p>1.本体とハンドルを図のように置きます。</p>
	<p>2.付属備品です。ワッシャー2種類とナット1種類は図の順に使用します。</p>
	<p>3.ワッシャーを穴の位置に合わせながら、ハンドルを接続部分に入れます。</p>



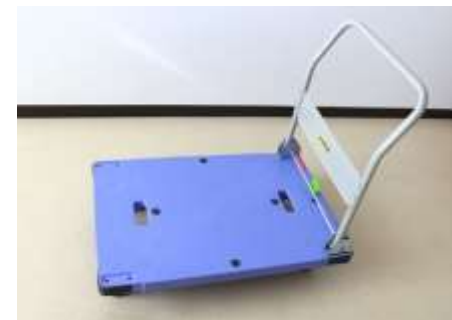
4.ハンドルを両手で内側に押すようにしながら差し込みます。



5.ハンドルを本体に差し込んだら、ハンドルをおこします。



6.台車を横に倒し、裏から接続部分をネジで固定します。
ある程度までネジを回したら、最後に付属のスパナでしっかりと締めてください。



7.これで完成です。

ハンドルの広げ方



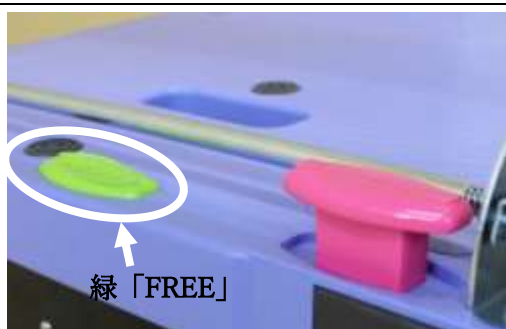
足で台車を押さえながら、ハンドルを上
に引いて、「カチッ」と音がするまで広げ
てください。
ハンドルが前に倒れないことを確認して
ください。

ハンドルの折り畳み方



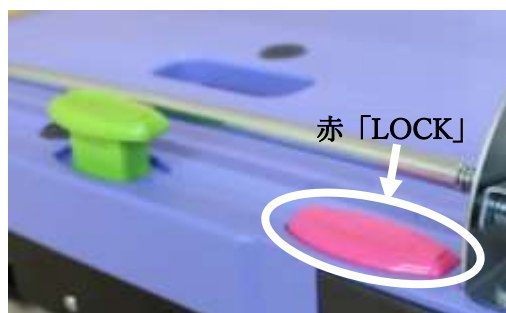
足で「折り畳み棒」を下までしっかり踏み
ながら、ハンドルを前に押して、「カチッ
」と音がするまで畳んでください。

ブレーキの使い方



緑の「FREE」が下がっている時は、ブレ
ーキがかかっていない状態です。

この状態で台車を押して移動できます。



赤い「LOCK」が下がっている時は、ブレ
ーキがかかっている状態です。

この状態で台車を無理に押して移動させ
ないでください。

手押し台車梱包方法

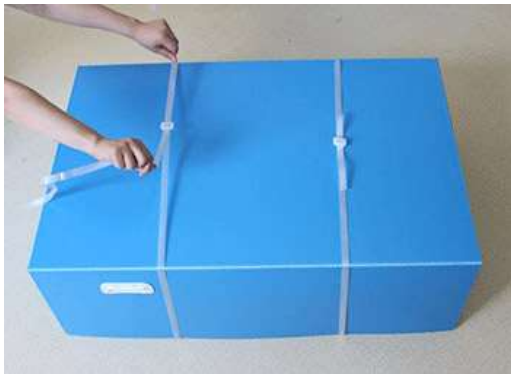
	<p>1. ハンドルを立てた状態で手押し台車を横に倒し、ハンドルを固定しているナットとワッシャーを外してください。</p>
	<p>2. 手押し台車をおこして、ハンドルを垂直に引き抜いてください。</p>
	<p>3. 引き抜いたハンドルを横に倒し、接続部分にはめてあるワッシャーを外してください。</p>
	<p>4. 2本のPPバンドを敷いて、箱を載せてください。</p>
	<p>5. 台車の本体を箱に入れてください。</p>



6. ハンドルを本体の上に載せます。
さらにワッシャー・ナットなどのねじ類
12個とスパナを袋に入れ、一緒に本体
の上に載せてください。



7. 箱の蓋をかぶせてください。



8. 留め具を使って2本のPPバンドをかけ
てください。



* 出荷伝票下のビニール封筒の中の返却用着払い伝票を
貼り付け位置に貼って返してください。